

東大生産研「学生発明コンテスト」を開催

東京大学生産技術研究所では、「第一回東京大学生発明コンテスト」を開催し、表彰式がこのほど生産研で行われた。表彰式では、小宮山宏副学長による挨拶の後、西尾茂文生産研所長から受賞者に対して各賞に対する表彰状、楯、副賞が贈呈された。最優秀賞は、放射線検出装置を発明した大学院工学系研究科システム量子工学専攻・博士二年の澁谷憲悟君が受賞した。

このコンテストは、学生が発明や知的財産権に対する理解を深めることを目的に、生産研・産学連携委員会(委員長・畑中研一教授)と(財)生産技術研究奨励会(TILO)の共催で企画されたもの。東大学生を対象に昨年十一月から十二月まで応募を受け付け、全学から二十件もの応募があった。

先行技術の調査結果や新規性を考慮して書類審査を行い、十件を本審査の対象とした。本審査は三月に行われ、発明者の学生によるプレゼンテーションに対する質疑応答後、発明の新規性・新鮮さ・着想や工業所有権としての価値、技術レベル、発明としての完成度等を基準に選考が行われた。

コンテストは、教育の一環であることに鑑み、発明の経済的な価値は重視せず、書類審査の過程で明らかとなった先行技術を回避するための工夫、さらには発明の経緯

やアピール方法等も評価の対象とした。

今回のコンテスト

は、「発明」や「特許」

という取り扱いに配慮が必要なるものを対象にしているため、

コンテストの運営は

困難が多かったが、

企画の段階から、産

学連携委員の教官と

事務方、さらには生

産技術研究奨励会の

室員が一致団結した

体制で準備・運営を行った。また、発明に

対する評価や先行事例の調査などは、特許

を扱う専門家の多大な支援を受けながら遂

行された。初めての企画としては優れた発

明が数多く集まり、当初の予想をはるかに

越え成功裏に終わったが、将来的には「発

明コンテスト」が全学的な行事に発展する

ことを期待している。

コンテストの詳細は生産研発明コンテ

ストのホームページ([http://hat](http://hatsumei.iis.utokyo.ac.jp/)

[sumei.iis.utokyo.ac.jp/](http://hatsumei.iis.utokyo.ac.jp/)

<http://hatsumei.iis.utokyo.ac.jp/>

に掲載されている。

